

**医療法人ゆうの森、kintoneを活用した包括ケアによる
へき地診療所の経営安定化の取り組みで、
日本サービス大賞「地方創生大臣賞」を受賞**

サイボウズ株式会社（東京オフィス：東京都中央区、社長：青野 慶久、以下 サイボウズ）は、サービス産業生産性協議会主催、経済産業省ほか 4 省が後援する「日本サービス大賞」（<http://service-award.jp/>）において、医療法人ゆうの森（法人本部：愛媛県松山市、理事長：永井康德、以下 ゆうの森）の「在宅医療により地域を再生するへき地医療ビジネス」が、地方創生大臣賞を受賞したことを発表いたします。ゆうの森では、この取り組みの実現にあたり、サイボウズの kintone をご利用いただいております。

■ 地方創生大臣賞受賞の背景

愛媛県の医療法人ゆうの森は、医療から介護まで一体化した在宅専門クリニックの診療に加え、松山から 100km 離れた過疎地域である西予市の診療所を運営しています。この診療所は、年間 3,000 万の赤字が続き、廃止の危機にさらされていました。過疎地域に医師を呼ぶには高額な報酬が必要なため、地域の診療所の多くが財政上の問題を抱えています。しかしながら、診療所の存続を願う住民の声を聞いた永井理事長は、この診療所と現在松山市にあるクリニックと一体運用することで、赤字を解消する方法を考案し、運営を引き継ぎました。現在は、ゆうの森の医師が日替わりで西予市の診療所に通い、24 時間 365 日の運用体制で、患者の包括ケアを行っています。

複数の医師が毎日交代で患者を診察していくため、医療スタッフ間で引き継ぎが円滑な業務遂行の要となります。そこでゆうの森では、診療情報、介護記録、投薬管理、日々の申し送りや過去の入院情報を kintone で患者ごとに管理し、栄養士、事務員、理学療法士、薬剤師、ヘルパー、医師、看護師、ケアマネージャーなど、患者と関わるスタッフがリアルタイムに情報を共有する仕組みを取り入れました。これにより、クリニック全体で患者を見守る体制を整えられ、広域でのきめ細かな医療活動の実現につながっています。ゆうの森は、このシステムを活用し引き継ぎからわずか 4 ヶ月で西予市の診療所の黒字化に成功。IT を活用し、へき地診療所を再生させた模範的事例として、今回の受賞に至りました。



【kintone による地域包括ケアシステム実現のイメージ図】

■医療法人ゆうの森 概要 <http://www.tampopo-clinic.com>

法人名 : 医療法人ゆうの森

創業 : 2000 年 10 月開業

業種 : 在宅医療を主体とする医療法人

本部所在地 : 愛媛県松山市別府町 4 4 4 - 1

代表者 : 永井康德（理事長）

理念 : 患者本人の生き方に向き合い、その人の人生と生活を支える医療を提供する。

職員数 : 1 0 7 名

■「kintone」製品概要 <https://kintone.cybozu.com/jp/>

サイボウズ株式会社が提供する、Web データベース型のクラウドサービスです。営業の案件管理、お客さまからの問い合わせ履歴やクレーム対応の管理、プロジェクトの進捗やタスク管理、従業員の業務日報など、お客様の用途にあわせた業務アプリの作成が可能です。また、アプリケーションはノンプログラミングで開発できます。

■報道関係者様からのお問い合わせ先

サイボウズ株式会社 マーケティングコミュニケーション部 : 大滝 空

〒103-6028 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー 27 階

TEL: 03-4306-0803 / FAX: 03-5204-1040 / MAIL: pr@cybozu.co.jp

※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。個別の商標・著作物に関する注記については、こちらをご参照下さい。

http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html